

真夏のような暑さによく慣れたと思ったとたんの急な寒さ…気温の変化が激しい今日この頃、お子さんたち・ママたち、体調は大丈夫ですか？美味しいものを食べて健やかに過ごしてくださいね(\*^\_^\*)

先日、ムーブメント活動をしていた時、パラシュート(パラバルーン)をさっと広げた瞬間、年中さんの男の子が「わくわくするね♪」と言ったのです。「え？凄いや！」わたしはびっくり仰天してしまいました。3ヶ月程前には「わくわくする〜」と言っていました。その時も驚いたのですが「ね」がついたのです。相手に同意を求める「ね」、感動を共有しましょうよ、という思いの「ね」がついたことで、この男の子の大きな成長を感じました。0歳児から、ほぼ毎日ママのりあに通い、確か3歳の誕生日頃まで「ことばが出ない」とママは悩んでいたはず。いったん出始めるとことばは湯水のようにあふれ出て、相手と気持ちを共有できるまでになったのです。若干、会話が一方通行なところはありますが…(^-^)/ 子ども園はお休みしても、「ママのりあには行く」というお子さんの気持ちを尊重し、頑張って連れて来て下さったママに感謝です。

お子さんのことばに関する相談の際に、昔お世話になった先生から教わったことをいつも思い出します。「ことばがゆっくりなお子さんが情報をキャッチするのは、細い一輪挿しの口からス〜と奥まで届く時のみなのです。」と。だからわたしは、お子さんたちと関わる時、邪魔な刺激は与えず unnecessary ことばは極力使わないように、目が合った瞬間、端的に短く伝えています。

ふと思うのです。小さいお子さんたちは、こちらの「ことば」を

届けたい。でも大きくなり思春期前後のお子さんたちからは、「ことば」を受け取りたいのです。日々悶々としている子どもたちが何を考えているのか？何が辛いのか？気持ちを打ち明けて欲しいのに話してくれない…そういう相談もたくさんあります。思春期前後の子どもたちもまた、細い一輪挿しの口を探しているのではないのでしょうか？

誰に、いつ、どんな時に気持ちを伝えられるのか？きっと、探しているのだと思います。聴くわたしたちが、 unnecessary ことばを伝えることで、そのきっかけを失ってしまうような気がします。心の扉とことばの扉はつながっていると感じます。

0歳児から18歳までのお子さんたちと関わらせていただく中で感じるのは、どの子にもとても大切な「要の時」があり、そこでいかに寄り添えるかがカギのように思います。寄り添うというのは伝えることではなく、受け入れること、聴くことだと感じます。それができているのか?! いつも自分に問いかけています(^-^)/

ママたち自身が悶々とした時はいつでも職員にお話してくださいね♪ (長島)

6月限定イベント

親子でたのび、ふれあおう!  
 参加無料  
 親子あそび  
 はじめての方も大歓迎です

お子さんと一緒に、からだを動かしたり、手あそびや読み聞かせなども楽しみませんか？

6月5・19日(金)  
 10・24日(水)  
 6月6・13・20・27日(土)  
 10:00~11:30  
 お友だちと一緒に大歓迎です



ママのりあは、なぜ？90分なの？  
 お子さんの大切な時間を内容が濃い療育にしたいからです。  
 大人でも長い時間集中するのは難しいお子さんは、もと難しいので、「頑張る時間」「遊ぶ学ぶ時間」「自分らしく過ごす時間」をバランスよく組み合わせた90分にしています。

お問い合わせ  
 ☎ 0555-25-6703  
 ✉ genki@mamanooriacojp  
 🏠 〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田5-2-26